

「ブレイズDNA」信念に

チームには、大事にしている「FREE BLADES DNA」がある。チーム名の頭文字を取って10カ条ある。どう過ごすかを意識してわれわれが活動しているか。チームのバックボーンを解く。

①「Fans」ファンを大切に。ファンがいかにかかわるまで自分たちが競技できる。それを意識して毎日死に物狂いで戦わなといけない。自分たちの行動でファンに感動や力を与えないといけない。選手は試合終了直後のサイン会にたじろぎず、常にファンサービスを心掛けていく。

②「Respect&Ren

チームの頭文字から10カ条

ovate(敬意と刷新)。チームをサポートするスポンサーや施設スタッフ、地元の連盟の方々などに敬意を払う。刷新の部分では、ブレイズはまだ7年の歴史しかないが、新しいチームだからこそ日本のアイスホッケー界に風を吹かせることができる。既成概念にとらわれず、いろいろなことに挑戦したい。

③「Entertrain」楽しむ。選手も楽しんで。自分が楽しむとお客さんを楽しませることもできない。音楽や照明、マスコットキャラクターなども活用している。

④「Educated」(知的教養)。日本のアイスホッケー界は非常に狭く、ほとんどの選手が北海道出身。その中でも苦小牧、釧路がメインになる。チーム(へ)りでは、いろいろな人間

を入れて視野を広げていくことが大事だ。経歴に違いがあった方が刺激があると思う。

昨年、八百学院大と提携を結んだ。チームの基本的なルールは、高校から入団したい場合は、(入団後に)通信制で大学に通うか、大学に通うこと。同大に通いながらブレイズでプレーする選手も近々出てくると思う。人間教育も大切だ。引退後、社会で活躍する選手を育てたい。

⑤「Bond(絆)」。夏場、チームが始動するときに、グループ討論をするなど相互を知りあうための活動も行う。また、控室の席順はよりみんながうまくコミュニケーションを取れるようにと、スタッフが決めている。

⑥「Leadership」(リーダーシップ)。選手には誰かに頼るのではなく、自分が引っ張って行くように指導している。

⑦「Appreciate」(感謝)。自分たちの家族や周囲で応援してくれる人にも感謝しながら、言動や行動に責任を持つ。

⑧「Discipline」(規律)。試合中にはレフェリーが規律なので従わないといけない。

⑨「Execute」(徹底的にやりきる)。「目標設定したら、何が何でも達成する執着心を持つ。ストイックに自分のやるべきことを淡々とやるように指導している。

⑩「Self-motivated」(自発性)。率先して行動しないと意味がない。目標が明確で、何をやるべきかがはっきりしていれば、選手は自発的に実施すると思う。